

【例題－林業5】

伐木に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 伐木の季節としては、夏季に伐採した材は冬季に伐採した材と比較して病虫害にかかることが少なく、狂いの少ない材が得られるため、夏季に伐採するのがよい。
2. 急傾斜地における伐倒方向は、一般に横向きまたは斜め下向きがよいとされている。
3. 追口は、伐倒方向を確実にするとともに材の裂けを防ぐために、受け口よりやや低い位置に入れる。
4. チェーンソーによる伐木では、鋸断速度が大きいいため、特に伐りはじめの鋸を入れる際に、くさびを用いてチェーンソーの案内板が材に挟まれない状態にしておく。
5. のこによって伐倒する方法は、一般にチェーンソーによるものと比較して立木の損傷が大きく、また材の無駄も多いため、近年ではほとんど用いられていない。

(正答) 2